

資料編

■回答不可理由

調査数	て本人の者がい不在し	転居	死亡	その他	有効回答
11,641	10	16	29	99	11,487
100.0	0.1	0.1	0.2	0.9	98.7

問1 記入者

調査数	ご本人	ご家族	その他	無回答
11,487	10,099	1,142	82	164
100.0	87.9	9.9	0.7	1.4

問2 (1) 本人の性別

調査数	男性	女性	その他、または、答えたくない	無回答
11,487	4,839	6,584	10	54
100.0	42.1	57.3	0.1	0.5

問2 (2) 本人の年齢

調査数	65歳以下	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳以上	無回答
11,487	2,185	2,509	2,898	2,003	1,241	597	54
100.0	19.0	21.8	25.2	17.4	10.8	5.2	0.5

問2 (3) 居住区

調査数	北区	都島区	福島区	此花区	中央区	西区	港区	大正区	天王寺区	浪速区	西淀川区	淀川区	東淀川区	東成区	生野区	旭区	城東区	鶴見区
11,487	475	517	500	461	471	472	472	458	457	414	482	491	458	492	431	501	497	495
100.0	4.1	4.5	4.4	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	3.6	4.2	4.3	4.0	4.3	3.8	4.4	4.3	4.3

調査数	阿倍野区	住之江区	住吉区	東住吉区	平野区	西成区	無回答
516	478	506	512	476	404	51	51
4.5	4.2	4.4	4.5	4.1	3.5	0.4	0.4

問2 (4) 居住年数

調査数	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～30年未満	30年以上	生まれてからずっと	無回答
11,487	118	585	713	2,834	6,132	1,043	62
100.0	1.0	5.1	6.2	24.7	53.4	9.1	0.5

* 所得段階

調査数	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階	第13段階	第14段階	第15段階	不明
11,487	749	1,824	1,217	1,097	940	1,069	1,389	1,327	770	392	211	101	62	128	186	25
100.0	6.5	15.9	10.6	9.5	8.2	9.3	12.1	11.6	6.7	3.4	1.8	0.9	0.5	1.1	1.6	0.2

問3 世帯状況

調査数	単身(ひとり暮らし)	偶夫婦65歳以上(配偶者なし)	偶夫婦64歳以下(配偶者あり)	全上員65歳以上の世帯	その他の世帯(上記以外)	無回答
11,487	3,579	4,057	404	422	2,633	392
100.0	31.2	35.3	3.5	3.7	22.9	3.4

問3-1 昼間の半日以上、家の中でひとりになる頻度

調査数	ほとんどない	週に1～2日程度	週に3～4日程度	週に5～6日程度	毎日	無回答
7,516	4,385	1,158	761	686	382	144
100.0	58.3	15.4	10.1	9.1	5.1	1.9

問4 要介護・要支援認定状況

調査数	申請していない	現在申請中である(結果がでていない)	非該当(自立)	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
11,487	6,787	91	1,368	24	679	389	325	341	249	198	135	426	475
100.0	59.1	0.8	11.9	0.2	5.9	3.4	2.8	3.0	2.2	1.7	1.2	3.7	4.1

問5 介護が必要になった場合の暮らし方

調査数	ご家族など現在の住宅に介護を受けたい	現在の住宅に介護を受けたい	介護保険サービスの居宅介護(住宅など)に入居したい	高齢者向けに配慮された住宅(サービス)に入居したい	特別養護老人ホームや介護施設に入所したい	その他	わからない	無回答
11,487	2,061	4,546	1,177	1,236	236	1,975	256	
100.0	17.9	39.6	10.2	10.8	2.1	17.2	2.2	

問6 日常生活への不安の有無

調査数	とても不安を感じる	多少不安を感じる	不安は感じない	わからない	無回答
11,487	961	5,448	3,860	571	647
100.0	8.4	47.4	33.6	5.0	5.6

問6-1 日常生活への不安

調査数	あなたやご家族の健康なこと	急な具合(体調)が悪くなったとき	自分自身やご家族が認知症になること	家事や軽作業などのこと(買い物、掃除、洗濯など)	頼れる人がいなくなる	困りごとなど相談する相手がいないこと	預貯金の入金や光熱費のお金を管理すること	貯金が減少すること	生活のための収入や預貯金の減少すること	地震や水害など災害に	その他	無回答
6,409	3,515	4,105	3,102	1,444	1,307	769	922	2,421	1,967	142	83	
100.0	54.8	64.1	48.4	22.5	20.4	12.0	14.4	37.8	30.7	2.2	1.3	

問6-2 不安を感じた時の相談先

調査数	友人・知人	民生委員	地域包括支援センター(またはプラランチ)	区役所・保健福祉センター	談話	ごころの悩み電話相談	老人福祉センター	しんじ(誰)にも相談しない	わからない	その他	無回答
6,409	2,326	227	1,239	1,589	65	218	506	859	1,319	302	
100.0	36.3	3.5	19.3	24.8	1.0	3.4	7.9	13.4	20.6	4.7	

問7①情報通信機器の所有状況

調査数	テレビ	ラジオ	固定電話	ファックス	携帯電話(スマートフォンを除く)	スマートフォン	タブレット端末	パソコン	ゲーム機	インターネット接続	この中にはない	無回答
11,487	9,833	4,973	6,450	2,763	2,812	6,585	1,251	3,170	392	20	1,096	
100.0	85.6	43.3	56.2	24.1	24.5	57.3	10.9	27.6	3.4	0.2	9.5	

問7②情報通信機器の利用状況

調査数	テレビ	ラジオ	固定電話	ファックス	携帯電話(スマートフォンを除く)	スマートフォン	タブレット端末	パソコン	ゲーム機	インターネット接続	この中にはない	無回答
11,487	8,915	2,663	3,838	1,165	2,304	6,104	940	2,354	231	27	1,856	
100.0	77.6	23.2	33.4	10.1	20.1	53.1	8.2	20.5	2.0	0.2	16.2	

問8 情報通信機器の利用目的

調査数	固定電話やファックスなどで家族・友人などと連絡をとる	パソコンを使用して家族・友人などと連絡をとる	携帯電話・スマートフォン(LINEや携帯電話のメールを含む)	インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする	LINE、Zoom(含む)などを行う	ゲームをする	ビデオ通話	ゲームをする	インターネット接続	ネットバンキングや金融取引(証券・保険取引など)をする	ホームページやブログの書き込みまたは開設・更新をする	国や市など行政の手続きをインターネットで(電子自治体)	いずれも使わない	無回答
11,487	3,636	873	9,323	3,161	1,039	1,824	1,304	159	1,058	757	711	319		
100.0	31.7	7.6	81.2	27.5	9.0	15.9	11.4	1.4	9.2	6.6	6.2	2.8		

問9 医療の相談先

調査数	かかりつけの医師	かかりつけの歯科医師	かかりつけの薬剤師	訪問看護ステーション	地域包括支援センター(または総合相談窓口)	ホームヘルパー	介護支援専門員(ケアマネジャー)	区役所・保健福祉センター	ご家族・親族	友人・知人	その他	わからない	無回答
11,487	9,097	2,817	864	413	974	341	1,344	1,669	6,608	1,998	144	315	188
100.0	79.2	24.5	7.5	3.6	8.5	3.0	11.7	14.5	57.5	17.4	1.3	2.7	1.6

問10 希望すれば在宅医療を受けられることの認知度

調査数	知っている	知らない	無回答
11,487	6,738	4,153	596
100.0	58.7	36.2	5.2

問11 在宅医療の利用状況

	調査数	利用している	利用していないが	知らない	無回答
①医師による訪問診療	11,487	383	7,265	2,834	1,005
	100.0	3.3	63.2	24.7	8.7
②歯科医師による訪問歯科診療	11,487	168	5,018	4,699	1,602
	100.0	1.5	43.7	40.9	13.9
③薬剤師による訪問薬剤管理指導	11,487	163	2,890	6,521	1,913
	100.0	1.4	25.2	56.8	16.7
④看護師などによる訪問看護	11,487	451	5,370	4,051	1,615
	100.0	3.9	46.7	35.3	14.1
⑤緊急時に対応してくれる医師または医療機関	11,487	613	3,761	5,522	1,591
	100.0	5.3	32.7	48.1	13.9
⑥緊急時に対応してくれる看護師または訪問看護	11,487	295	2,625	6,733	1,834
	100.0	2.6	22.9	58.6	16.0

問12 人生会議(ACP)の認知度

調査数	名前も内容も知っている	名前は知っているが、内容は知らない	名前も内容も知らない	無回答
11,487	409	808	9,873	397
100.0	3.6	7.0	85.9	3.5

問13 人生の最終段階に過ごしたい場所

調査数	自宅	子どもの家や親族の家	高齢者向け住宅	どの介護施設	特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなど	介護施設など、病院内の機能を重視した施設	病院などの医療機関	その他	わからない	無回答
11,487	4,377	110	217	751	952	2,953	115	1,757	255	
100.0	38.1	1.0	1.9	6.5	8.3	25.7	1.0	15.3	2.2	

問14 人生の最終段階についての話し合いの有無

調査数	はい	いいえ	無回答
11,487	3,485	7,523	479
100.0	30.3	65.5	4.2

問14-1 人生の最終段階についての話し合った相手

調査数	ご家族・親族	友人・知人	かかりつけの医師	ケアマネジャー	介護支援専門員(ケアマネジャー)	その他	無回答
3,485	3,084	666	113	137	34	51	
100.0	88.5	19.1	3.2	3.9	1.0	1.5	

問14-2 話し合いで決めた内容の共有有無

調査数	はい	いいえ	無回答
3,485	689	2,686	110
100.0	19.8	77.1	3.2

問15 認知症の認知度

調査数	原因となる病気や症状など	言葉に原因は聞いたことがあるが、原因や症状など	わからない	無回答
11,487	7,857	2,972	259	399
100.0	68.4	25.9	2.3	3.5

問16 認知症基本法の認知度

調査数	名称も内容も知っている	名称は知っているが、内容は知らない	名称も内容も知らない	無回答
11,487	533	1,695	8,836	423
100.0	4.6	14.8	76.9	3.7

問17 認知症の人の支援

調査数	実認知症に関する相談窓口の充	認知症の早期発見への取組み	病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実	ご家族や地域の人、職場などで、認知症についての理解が深まること	介護職員が行う認知症ケアの質の向上	認知症の人を介護するご家族に対する支援	認知症に関するサービス	認知症の自らが社会の中で役割を得て活動する場の確保	認知症の人やその家族が気軽に立ち寄ることができる集いの場（認知症カフェ等）の充実	認知症予防（認知症になるのを遅らせるという意味）に関する取り組みの充実	認知症の人に対する虐待防止や本人の権利擁護に関する支援	その他	わからない	無回答
11,487	6,081	7,106	5,731	4,297	3,066	6,247	5,880	2,486	3,187	6,601	4,079	106	902	315
100.0	52.9	61.9	49.9	37.4	26.7	54.4	51.2	21.6	27.7	57.5	35.5	0.9	7.9	2.7

問18 孤立死に対する意識

調査数	身近に感じる	やや身近に感じる	あまり身近に感じない	身近に感じない	わからない	無回答
11,487	1,500	2,689	3,448	1,806	1,615	429
100.0	13.1	23.4	30.0	15.7	14.1	3.7

問18-1 孤立死を身近に感じる理由

調査数	少親族との付き合いが	少近所との付き合いが	少友人との付き合いが	らあまり外出しないか	不安があるから、健康に	その他	特に理由はない	無回答
4,189	1,540	1,809	1,236	790	749	481	943	84
100.0	36.8	43.2	29.5	18.9	17.9	11.5	22.5	2.0

問19 災害時・緊急時にひとりで避難の可否

調査数	ひとりで避難できる	ひとりでは避難できない	わからない	無回答
11,487	7,666	2,051	1,419	351
100.0	66.7	17.9	12.4	3.1

問19-1 災害時・緊急時に手助けを頼める人の有無

調査数	常時いる	時間帯によってはいる	いない	わからない	無回答
3,470	1,086	1,388	630	296	70
100.0	31.3	40.0	18.2	8.5	2.0

問20 災害時の心配事

調査数	避難情報がわからない	避難所が遠い	浸水の恐れなどがある	家が倒壊の恐れがある	同居のご家族が動けない	避難所までの移動手段がない	避難場所がわからない	その他	心配事は特にない	無回答	
11,487	2,945	920	1,542	1,748	716	1,212	1,404	1,510	639	3,069	538
100.0	25.6	8.0	13.4	15.2	6.2	10.6	12.2	13.1	5.6	26.7	4.7

問21 地域包括支援センター・総合相談窓口（プラチ）の利用状況

調査数	利用したことがある	知っているが、利用していない	聞いたことがあるが、何を聞いたところかわからない	聞いたことがない（知らない）	無回答
11,487	1,673	3,837	1,462	4,241	274
100.0	14.6	33.4	12.7	36.9	2.4

問21-1 地域包括支援センター・総合相談窓口（プラチ）を知った経緯

調査数	区役所・保健福祉センターから聞いた	介護支援専門員（ケアマネジャー）・ホームヘルパー・施設職員などから聞いた	なかかりつけの医師や病院などから聞いた	地域民生委員・町会などの地域役員から聞いた	ご家族・友人、知人から聞いた	知った	パンフレットや資料から知った	インターネットを通じて知った	その他	無回答
1,673	321	367	256	74	291	111	20	88	145	
100.0	19.2	21.9	15.3	4.4	17.4	6.6	1.2	5.3	8.7	

問21-2 A. 地域包括支援センター・総合相談窓口（プラチ）の利用目的

調査数	ご家族の介護など（介護や日常生活の困りごと）	高齢者虐待について	成年後見制度について	認定支援1、要支援2のサービスについて	介護予防について	保健・医療サービス	見守り活動など（高齢者が一緒に活動したことが）	その他	無回答	
1,673	995	317	157	161	829	276	375	156	146	154
100.0	59.5	18.9	9.4	9.6	49.6	16.5	22.4	9.3	8.7	9.2

問28 高齢者向け施設・事業の利用状況・意向（安心安全）

	調査数	利用あり	いな （し） 知 つ て 今 後 利 用 が し 利 用	いな （し） 知 つ て 利 用 し た が く 利 用	知らない	無回答
⑨緊急通報システム事業（固定型）	11,487 100.0	130 1.1	1,796 15.6	710 6.2	6,610 57.5	2,241 19.5
⑩緊急通報システム事業（携帯型）	11,487 100.0	200 1.7	2,169 18.9	535 4.7	6,424 55.9	2,159 18.8
⑪安否確認のある食事サービス事業	11,487 100.0	164 1.4	1,989 17.3	1,181 10.3	6,065 52.8	2,088 18.2
⑫日常生活用具給付事業	11,487 100.0	319 2.8	2,354 20.5	632 5.5	6,072 52.9	2,110 18.4
⑬ごみの持ち出しサービス	11,487 100.0	207 1.8	2,358 20.5	1,423 12.4	5,470 47.6	2,029 17.7
⑭認知症高齢者見守りメール	11,487 100.0	35 0.3	1,722 15.0	922 8.0	6,666 58.0	2,142 18.6
⑮認知症高齢者位置情報探索事業（GPS）	11,487 100.0	33 0.3	1,884 16.4	1,076 9.4	6,322 55.0	2,172 18.9
⑯見守り相談室による地域の見守り活動の支援	11,487 100.0	110 1.0	1,929 16.8	968 8.4	6,353 55.3	2,127 18.5

問28 高齢者向け施設・事業の利用状況・意向（制度）

⑰あんしんさぼーと事業	11,487 100.0	51 0.4	1,549 13.5	774 6.7	7,021 61.1	2,092 18.2
⑱成年後見制度	11,487 100.0	73 0.6	1,701 14.8	2,898 25.2	4,645 40.4	2,170 18.9

問29 自立支援・重度化防止に役立つケアマネジメントの実施意向

調査数	実施したい	実施したくない	無回答
11,487 100.0	7,729 67.3	2,572 22.4	1,186 10.3

おおさか市こうれいしゃじやじたいちようさひよう 大阪府高年齢者実態調査票

ほんにんちようさ
(本人調査)

れいわ ねん がつ
令和7年7月

おおさかしかくしきまく
大阪府福祉局 高齢者施策部 高齢福祉課

この調査は、次のいずれかの方法で回答できます。

- ① パソコンやスマートフォン・タブレット端末を使って、回答専用サイトから回答できます。回答専用サイトへのアクセスやログインから回答方法などについては、1ページでご確認ください。専用サイトから回答いただいた場合は、本調査票(紙ベース)への記入と返送(ポスト投かん)は不要です。
- ② この調査票に直接記入・回答される場合は、4ページをお読みいただき、質問順にご回答ください。

※専用の回答ページにログインする際は、次のID・パスワードを入力してください。

◇ID ◇パスワード

* ID・パスワードは、回答専用画面に入るための認証キーです。どの方にもID・パスワードを送付したのではありませんので、回答者個人を特定することはできません。

【調査についてのお問い合わせ先】

調査事務局 (大阪府高年齢者実態調査サポートセンター)
フリーダイヤル：0120-782-964 (通話料無料)
受付時間：月～金曜日(土曜日・日曜日・祝日除く)午前9時～午後5時

WEB(インターネット)で回答する場合



① スマートフォン・タブレット端末の場合は、右の二次元バーコードをカメラで読み取ってください(携帯電話端末(いわゆるガラケー)は利用できません)。

※パソコンの場合は、次のURL (「https…」から始まるアドレス) を手入力し、エンターキーを押してください。

[URL] <https://src.webcas.net/form/pub/src2/k271004h>

② 次の画面が表示されたら、この調査票の表紙に印字されているIDとパスワードを入力し、「ログイン」ボタンを押し、回答ページに入ってください。

大阪府高年齢者実態調査 (本人調査)

ログインID ※必須

k00123

① 表紙「ID」欄のk+5ケタの番号を入力
(半角で入力)

パスワード ※必須

Ab12

② 表紙の「パスワード」を入力
(半角で入力)

③ 「ID」「パスワード」を入力したら、「ログイン」を押す

ログイン

③ 回答ページに入ったら、質問の番号順に沿って回答してください。
(8月8日(金)までにご回答ください。)

※2ページの回答例を参照してください。

かいどうれい
【回答例】

問6 あなたは、日常生活全般で不安を感じていますか。(Dとつだけ)

とても不安を感じる
 多少不安を感じる
 不安を感じない
 わからない

問6-1 あなたは、日常生活全般で不安に感じることとはどのようなことですか。(いくつでも)

あなたやご家族の健康のこと
 急に具合(体調)が悪くなったときのこと
 自分自身やご家族が認知症になること
 家事や軽作業などのこと(仕事づくりやとりでの買い物、掃除、洗濯など)
 頼れる人がいなくなること
 困りごとなど相談する相手がいらないこと
 貯蓄金の入出金や光熱費の支払いなど、日々のお金を管理すること
 生活のための収入や貯蓄金が減ること
 地震や水害など災害に関すること

あてはまる項目にチェックを入れてください。

つぎ次のページの質問に進むには「戻る」ボタンで、「つ前のページ」に戻り回答を修正できます。

「戻る」ボタンで、「つ前のページ」に戻り回答を修正できます。

つぎ次のページの質問に進むには「次へ」ボタンを押す。

戻る 次へ 一時保存

かいどうちゅうりゅう 戻り
◇回答途中で保存したい場合

① 回答ページの下の「一時保存」ボタンを押す
 ② 画面に表示されているページをすべて閉じる(画面右上の図を押す)
 ※これで回答途中まで保存されています。
 ※保存期間は1週間です。その期間を過ぎると回答は消去されます。

かいどう 再開
◇回答を再開する場合

① この冊子1ページの①②の手順で専用の回答ページに入ってください。
 ② 画面に表示される「つぎから」ボタンを押してください。
 ③ 回答途中のページが表示されますので、回答を続けてください。

さいご 最後の質問への回答が終わりましたら、画面下に表示されている「登録」ボタンを押してください。

戻る 登録 「登録」ボタンを押す。 一時保存

つぎ 次の画面が表示されましたら、調査は終了です。

以上で調査は終わります。
ご協力ありがとうございました。

※1～3ページのWEB回答画面はイメージです。実際の表示とは異なる場合があります。

調査票に直接記入・回答する場合

《ご記入にあたってのお願い》

- この調査は、記入日現在の状況でお答えください。また、筆記具は、鉛筆やボールペンなど、はつきりと書けるものをお使いください。
- ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**8月8日（金）**までに郵便ポストに投かんしてください。
なお、調査票と返信用封筒にお名前をご記入いただく必要はございません。
- この調査は、あて名のご本人がお答えください。ただし、ご本人が記入できない場合は、ご本人の状況を把握しているご家族の方などが記入してください。
- この調査の回答は、あてはまる番号に○をつけていただくものがほとんどです。質問により、1つだけ○をつけていただくものと、複数○をつけていただくものがありますので、質問に従ってご回答ください。また、「その他」に○をつけられた場合は、()内になるべく具体的にその内容を記入してください。
- 答えにくい質問、答えたくない質問については、記入する必要はありません。答えられる範囲でお答えください。

■調査の対象となっていない方が何らかの事情により回答できない場合には、次のいずれかに○をつけて、同封の返信用封筒（切手不要）に入れてご返送ください。

- ご本人の状況を把握している者がいない
- 転居
- 死亡
- その他 ()

上記以外の場合は、次のページからの質問にお答えください。

【記入者】

問1 この調査票をご記入されるのはどなたですか。(○はひとつ)

- ご本人
- ご家族
- その他 ()

【ご本人の情報】

問2 あなた（あて名ご本人：以降の質問も同じ）の性別、年齢などについておうかがいします。

(1) あなたの性別をお答えください。(○はひとつ)

- 男性
- 女性
- その他、または、答えたくない

(2) あなたの年齢をお答えください。(○はひとつ)

- | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 65～69歳 | 2 | 70～74歳 | 3 | 75～79歳 |
| 4 | 80～84歳 | 5 | 85～89歳 | 6 | 90歳以上 |

(3) あなたのお住まいの区はどちらですか。(○はひとつ)

- | | | | | | | | |
|----|------|----|------|----|------|----|------|
| 1 | 北区 | 2 | 都島区 | 3 | 福島区 | 4 | 此花区 |
| 5 | 中央区 | 6 | 西区 | 7 | 港区 | 8 | 大正区 |
| 9 | 天王寺区 | 10 | 浪速区 | 11 | 西淀川区 | 12 | 淀川区 |
| 13 | 東淀川区 | 14 | 東成区 | 15 | 生野区 | 16 | 旭区 |
| 17 | 城東区 | 18 | 鶴見区 | 19 | 阿倍野区 | 20 | 住之江区 |
| 21 | 住吉区 | 22 | 東住吉区 | 23 | 平野区 | 24 | 西成区 |

(4) あなたは、現在お住まいの区内に暮らし始めてどれくらい経ちますか。(○はひとつ)

- 1年未満
- 1～5年未満
- 5～10年未満
- 10～30年未満
- 30年以上
- 生まれてからずっと

【世帯状況】

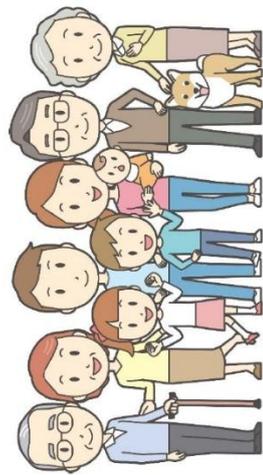
問3 あなたと同居されている家族の状況についてお答えください。(○はひとつ)

- 1 単身 (ひとり暮らし) **問4**人お進みください
- 2 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
- 3 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)
- 4 1~3以外の世帯で、全員65歳以上
- 5 その他の世帯 (1~4以外の世帯)

問3で「2」~「5」と回答された方におうかがいします。

問3-1 同居している方が仕事などで外出し、昼間、家の中で、半日以上 (6時間以上) ひとりになることがどのくらいありますか。(○はひとつ)

- 1 ひとりになることはほとんどない
- 2 週に1~2日程度
- 3 週に3~4日程度
- 4 週に5~6日程度
- 5 毎日



【要介護・要支援認定状況】

問4 あなたの介護保険の申請、認定状況は、次のどれにあてはまりますか。(○はひとつ)

(介護保険被保険者証をお持ちの方は、被保険者証の「要介護状態区分等」の欄に認定状況が記載されています。)

- 1 申請していない
- 2 現在申請中である (結果がでない)
- 3 非該当 (自立)
- 4 事業対象者*
- 5 要支援1
- 6 要支援2
- 7 要介護1
- 8 要介護2
- 9 要介護3
- 10 要介護4
- 11 要介護5
- 12 わからない

*『事業対象者』…基本チェックリストを実施し、サービス活動事業の対象者と判断された方。

【介護が必要になった場合の暮らし方】

問5 あなたは、介護が必要になった場合、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○はひとつ)

- 1 ご家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けたい
- 2 介護保険サービスの居宅介護サービスをうけながら、現在の住宅に住み続けたい
- 3 高齢者向けに配慮された住宅 (サービス付き高齢者向け住宅※など) に入居したい
- 4 特別養護老人ホーム※や介護老人保健施設※、介護医療院※などの施設に入居したい
- 5 その他 ()
- 6 わからない

※用語の説明は別紙参照

【日常生活への不安】

問6 あなたは、日常生活全般で不安を感じていますか。(○はひとつ)

- 1 とても不安を感じる
- 2 多少不安を感じる
- 3 不安は感じない.....→問7へお進みください
- 4 わからない.....

問6で「1 とても不安を感じる」「2 多少不安を感じる」と回答された方におうかがいします。

あなたは、日常生活全般で不安に感じることとはどのようなことですか。

(○はいくつでも)

- 1 あなたやご家族の健康のこと
- 2 急に具合(体調)が悪くなったりしたときのこと
- 3 自分自身やご家族が認知症になること
- 4 家事や軽作業などのこと(食事づくりやひとりでの買い物、掃除、洗濯など)
- 5 頼れる人がいなくなること
- 6 困りごとなど相談する相手がいないこと
- 7 預貯金の入出金や光熱費の支払いなど、日々のお金を管理すること
- 8 生活のための収入や預貯金が減少すること
- 9 地震や水害など災害に関すること
- 10 その他()

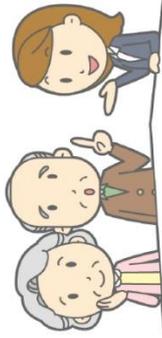
問6で「1 とても不安を感じる」「2 多少不安を感じる」と回答された方におうかがいします。

問6-2 日常生活全般で不安を感じた時、どこ(誰)に相談されますか。(○はいくつでも)

- 1 友人・知人
- 2 民生委員
- 3 地域包括支援センターまたは総合相談窓口(プランチ)
- 4 区役所・保健福祉センター
- 5 こころの悩み電話相談
- 6 老人福祉センター
- 7 どこ(誰)にも相談しない
- 8 わからない
- 9 その他()

高齢者福祉に関する相談窓口

- ・各区役所保健福祉課(平日9:00~17:30)
- ・お住まいの地域を担当する地域包括支援センター(平日9:00~19:00 土曜日9:00~17:00)
- ・お住まいの地域を担当する総合相談窓口(プランチ)(平日9:00~17:30)
- ・こころの悩み電話相談 ☎06-6923-0936(平日9:30~17:00)
- ・各老人福祉センター(平日・土曜日10:00~17:00)



【情報通信機器の利用状況】

あなたが、情報収集や情報伝達のために、所有している情報通信機器を、すべてお答えください。(〇はいくつでも)
また、あなたが、ふだん利用しているものを、すべてお答えください。(〇はいくつでも)

① 所有している もの	② あなたが ふだん利用 しているもの
(1) テレビ	1
(2) ラジオ	2
(3) 固定電話	3
(4) ファックス	4
(5) 携帯電話 (スマートフォンを除く)	5
(6) スマートフォン	6
(7) タブレット端末	7
(8) パソコン	8
(9) インターネット接続ゲーム機	9
(10) この中にはない	10



問8

あなたは、情報通信機器を使って、どのようなことをされますか。あてはまるものをすべてあげてください。(〇はいくつでも)

- 1 固定電話やファックスで家族・友人などと連絡をとる
- 2 パソコンを使用して電子メールで家族・友人などと連絡をとる
- 3 携帯電話・スマートフォンで家族・友人などと連絡をとる
(LINEや携帯電話のメールを含む。)
- 4 インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする
- 5 SNS (X (旧Twitter)、facebook、Instagramなど) を利用する
- 6 ビデオ通話 (LINE、Zoomなど) を行う
- 7 ゲームをする
- 8 ホームページやブログへの書き込みまたは開設・更新をする
- 9 ネットバンキングや金融取引 (証券・保険取引など) をする
- 10 国や市など行政の手続きをインターネットで行う (電子政府・電子自治体)
- 11 いずれも使わない

【医療の相談先】

問9
在宅で生活をしていて医療が必要になった時、どこに相談されますか。
(〇はいくつでも)

- 1 かかりつけの医師
- 2 かかりつけの歯科医師
- 3 かかりつけの薬剤師
- 4 訪問看護ステーション
- 5 地域包括支援センター※または総合相談窓口 (プランチ) ※
- 6 ホームヘルパー
- 7 介護支援専門員 (ケアマネジャー) ※
- 8 区役所・保健福祉センター
- 9 ご家族・親族
- 10 友人・知人
- 11 その他 ()
- 12 わからない

※用語の説明は別紙参照

【在宅で提供される医療】

あなたは、希望すれば在宅医療を受けられることを知っていますか。
(○はひとつ)

- 1 知っている 2 知らない

次の項目それぞれについて「利用している」「利用していないが知っている」「知らない」のいずれか該当するものを番号で選んでください。(○はひとつずつ)

	利用している	知っているが利用していない	知らない
① 医師による訪問診療	1	2	3
② 歯科医師による訪問歯科診療	1	2	3
③ 薬剤師による訪問薬剤管理指導	1	2	3
④ 看護師などによる訪問看護	1	2	3
⑤ 緊急時に対応してくれる医師または医療機関	1	2	3
⑥ 緊急時に対応してくれる看護士または訪問看護	1	2	3

あなたは、『人生会議（ACP）※』について知っていますか。(○はひとつ)

- 1 名前も内容も知っている
2 名前を知っているが、内容は知らない
3 名前も内容も知らない

※『人生会議』…ACP（アドバンス・ケア・プランニング）自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、意思決定ができない時のために、前もって考え、医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する取組み。

【人生の最終段階に過ごしたい場所】

方一、あなたが治る見込みのない病気になった場合、人生の最終段階をどこで過ごしたいですか。なお、必要な医療については、それぞれの場所で受けることができるものとしてお答えください。(○はひとつ)

- 1 自宅
2 こどもの家や親族の家
3 高齢者向け住宅
4 特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホーム※などの介護施設
5 介護医療院など、病院内に併設される「住まい」の機能を重視した施設
6 病院などの医療機関
7 その他（ ）
8 わからない

※用語の説明は別紙参照



【認知症の人の支援】

問17 あなたは、認知症の人の支援に必要なことは何だと思いますか。(〇はひとつも) (〇はいくつでも)

- 1 認知症に関する相談窓口の充実
- 2 認知症の早期発見への取組み
- 3 病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実
- 4 ご家族や地域の人、職場などでの認知症についての理解が深まること
- 5 介護職員が行う認知症ケアの質の向上
- 6 認知症の人を介護するご家族に対する支援
- 7 認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実
- 8 認知症の人目から社会の中で役割を得て活動する場の確保
- 9 認知症の人やその家族が気軽に立ち寄ることができる集いの場(認知症カフェ等)の充実
- 10 認知症予防(認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を緩やかにするという意味)に関する取組みの充実
- 11 認知症の人に対する虐待防止や本人の財産を守る(消費者被害の防止等)などの権利擁護に関する支援
- 12 その他()
- 13 わからない

【孤立死について】

問18 あなたは、孤立死についてどのように考えますか。(〇はひとつ)

- 1 身近に感じる
- 2 やや身近に感じる
- 3 あまり身近に感じない
- 4 身近に感じない
- 5 わからない

問19へお進みください

問18で「1 身近に感じる」「2 やや身近に感じる」と回答された方におうかがいします。

問18-1 あなたが身近だと感じる理由は次のどれにあたりますか。(〇はいくつでも)

- 1 親族との付き合いが少ないから
- 2 近所との付き合いが少ないから
- 3 友人との付き合いが少ないから
- 4 あまり外出しないから
- 5 病気がちで、健康に不安があるから
- 6 その他()
- 7 特に理由はない



問21で「利用したことがある」と回答された方におかけいたします。

あなたが、地域包括支援センターまたは総合相談窓口（プランチ）を利用（相談）された目的について、次の1～9に○をつけてください。（○はいくつでも）また、その時の満足度についてあてはまるものに○をつけてください。

A. 利用（相談）された目的		B. 相談したときの満足度 (1～4のいずれかに○)			
		満足	やや満足	やや不満	不満
1	介護や日常生活の困りごと（介護保険制度、ご家族の介護など）	1	2	3	4
2	もの忘れ、認知症について	1	2	3	4
3	高齢者虐待について	1	2	3	4
4	成年後見制度※について	1	2	3	4
5	要支援1、要支援2の認定を受けた後のサービス利用について	1	2	3	4
6	介護予防※について	1	2	3	4
7	保健、医療サービスや制度について	1	2	3	4
8	一緒に活動したことがある（研修、高齢者の見守り活動など）	1	2	3	4
9	その他（ ）	1	2	3	4

該当する番号にすべて○をしてください。

※『成年後見制度』…認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が十分でない方を保護、支援するために、法的に権限を与えられた後見人等が本人の意思を尊重しながら生活状況や身体状況等を考慮して、本人の生活や財産を守る制度。

※『介護予防』…介護が必要な状態になることをできる限り予防し、自立した自分らしい生活を送り、年齢を重ねても、いきいきと生きがいをもって暮らすための取り組み。

【高齢者虐待の相談先】

あなたは、あなたの周囲の高齢者が身近な人からの暴力や暴言、身体拘束や閉じ込め、介護や世話の放棄、年金の使い込みといった「高齢者虐待」を受けた場合の通報・相談先をご存じですか。（○はひとつ）

- 1 知っている 2 知らない

上記のようなことでの困りごとやご相談は

- ・各区役所保健福祉課（平日9：00～17：30）
- ・お住まいの地域を担担する地域包括支援センター（平日9：00～19：00 土曜日9：00～17：00）
- ・お住まいの地域を担当する総合相談窓口（プランチ）（平日9：00～17：30）
- ・大阪市休日夜間障がい者・高齢者虐待ホットライン ☎06-6206-3725（上記以外の時間帯での受付）

【消費者被害の経緯】

あなたは、これまでに消費者被害にあったことや、あいそようになったことはありませんか。（○はひとつ）

- 1 ある 2 ない



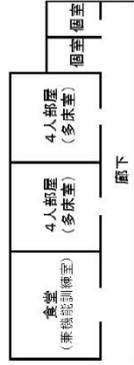
【特別養護老人ホーム入所意向】

あなたは、特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）に入所することになった場合、どちらの施設に入りたいかと思われませんか。（○はひとつ）

- 1 多床室の特別養護老人ホーム
- 2 ユニット型個室の特別養護老人ホーム
- 3 どちらでもよい

【居室イメージ】

- 1 多床室の特別養護老人ホーム
 4人部屋（多床室）を基本として、おおむね30人から50人程度の集団生活を営みながら、食事・入浴・排泄などの日常生活において必要な介護を提供します。



- 2 ユニット型個室の特別養護老人ホーム
 多床室より居住費が少し高くなりますが、すべて個室で、おおむね10人程度の少人数を生活単位として、居間・食堂などの共有スペースを設け、個々の生活リズムに配慮した介護を提供します。



【特別養護老人ホームの整備と介護保険料】

特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）の整備についてはおたずねします。令和7年7月1日現在、特別養護老人ホームは14,803人分整備されており、必要性・緊急性の高い入所申込者が概ね1年以内に入所できている状況になっています。特別養護老人ホームの整備が進めば、在宅よりも施設の方が介護サービス費用が高く、介護保険料にも影響します。あなたは、今後の整備についてどう思われますか。（○はひとつ）

- 1 介護保険料がある程度高くなっても、今後も特別養護老人ホームを増やす必要があると思う
- 2 特別養護老人ホームをこれ以上増やす必要はないと思う
- 3 わからない

【介護保険サービスと介護保険料】

介護保険サービスの充実が進めば、介護保険料が高額になっていきますが、あなたは、今後の介護保険サービスについてどう思われますか。（○はひとつ）

- 1 介護保険料が高くなって、介護保険サービスを充実させる必要があると思う
- 2 介護保険料が高くなるのは困るが、介護保険サービスを充実させる必要があると思う
- 3 介護保険料が高くなるなら、介護保険サービスをこれ以上充実させる必要はないと思う
- 4 介護保険料を下げるために、介護保険サービスを適正化が必要だと思う
- 5 わからない

※介護保険で利用できる主なサービスの説明は別紙参照

介護保険料の上昇を抑制するために、どのような取組が必要だと感じられますか。（○はひとつ）

- 1 介護保険サービスの利用を減らすために、介護が必要な状態にならないよう予防する
- 2 要介護認定の審査をさらに厳格化する
- 3 利用者が真に必要なとする過不足のないサービス利用をするように啓発する
- 4 介護保険サービス事業所に対する運営指導をもっと実施する
- 5 介護保険サービス以外で、在宅介護の支援をもっと充実させる
- 6 わからない

【本市関連施設・事業の利用状況・意向】

問28 次の施設や事業について、あなたの利用状況や意向をお答えください。
(〇はそれぞれひとつずつ)

	利用あり	知っているが利用なし		知らない
		今復利用したい	利用したくない	
①敬老優待乗車証	1	2	3	4
②介護予防ポイント事業	1	2	3	4
③シルバー人材センター	1	2	3	4
④高齢者入浴割引事業	1	2	3	4
⑤就労的活動支援事業 (無償のボランティア活動や有償の市民活動)	1	2	3	4
⑥生涯学習センター、生涯学習ルーム事業	1	2	3	4
⑦市立文化施設等敬老優待	1	2	3	4
⑧市立スポーツ施設の高齢者割引	1	2	3	4
⑨緊急通報システム事業(固定型)	1	2	3	4
⑩緊急通報システム事業(携帯型)	1	2	3	4
⑪安否確認のある良事サービス事業	1	2	3	4
⑫日常生活用具給付事業	1	2	3	4
⑬ごみの持ち出しサービス	1	2	3	4
⑭認知症高齢者見守りメール	1	2	3	4
⑮認知症高齢者位置情報探索事業(GPS)	1	2	3	4
⑯見守り相談室による地域の見守り活動の支援	1	2	3	4
⑰あんさんざぼーと事業	1	2	3	4
⑱成年後見制度	1	2	3	4

(施設や事業の説明は別紙参照)

いざい

安心安全

制度

【自立支援・重度化防止に役立つケアマネジメントについて】

自立支援・重度化防止に役立つケアマネジメントとは、高齢者の方が生活上の困りごとをサービで補うだけでなく、将来なりたい自分やしたいことの実現を目指すために、必要なリハビリテーション等をケアプランに位置づけるケアマネジメントです。

問29 ケアマネジャーから、いつまでも地域でいきいきと生活を続けることに役立つケアプランが提案された場合、そのプランに含まれるリハビリテーション等を実施してみたいですか。(〇はひとつ)

- 1 実施したい
- 2 実施したくない

◎高齢者施策に関するご意見・ご要望など
大阪市の高齢者施策についてのご意見・ご要望などを、次の欄に記入してください。



調査票は以上で終わりとなります。
調査にご協力いただき、
ありがとうございました。